

# 第5回「金持ち企業ランキング」調査

2017 年8月

あなたの会社の **e-審査部**  
**リスクモンスター株式会社**

<http://www.riskmonster.co.jp>

## ■ 調査の概要

### 1. 調査名称

第5回「金持ち企業ランキング」調査

### 2. 調査方法

決算書の分析結果に基づく調査

### 3. 調査対象決算期

2017年7月24日時点で開示されていた2016年4月期決算以降の最新決算

### 4. 調査対象企業

金融機関(銀行、証券会社、保険会社等)、IFRS適用企業を除く決算短信提出企業

### 5. 調査対象企業数

2,879社

## 1. 調査結果

### [1] 「金持ち企業ランキング」/ランキング結果

決算書の記載に基づき算出した NetCash(※)を比較した「金持ち企業ランキング」のランキング1位は「信越化学工業」(NetCash7,383 億円)であった。次いで「任天堂」が2位(同 6,627 億円)、「ファナック」が3位(同 6,297 億円)となり、以下「三菱自動車工業」(同 5,412 億円)、「SUBARU」(同 5,105 億円)、「SMC」(同 4,428 億円)、「キーエンス」(同 4,169 億円)と続いた。(図表A)

上位 20 社にランクインしている業種としては、機械器具製造業が最多の6社(ファナック、三菱自動車工業、SUBARU、SMC、三菱電機、スズキ)を占め、その他製造業が9社(信越化学工業、任天堂、キーエンス、京セラ、富士フィルムホールディングス、ローム、バンダイナムコホールディングス、ルネサスエレクトロニクス、大正製薬ホールディングス)を占めており、上位 20 社のうち、15社が製造業となっている。前回の16社に続き、製造業の割合が高く、製造業における Cash の潤沢度合いがうかがえる結果となった。

前回順位との比較においては、「スズキ」の大幅ランクアップ(2582 位→14 位)が目立つ。同社は、近年の好調な業績推移によって営業キャッシュフローを増加させたことに加え、SUBARU株の売却により多額の Cash を獲得したことで、ランクインしたものと考えられる。また、11 位「大成建設」(前回 35 位)は、大幅にランクアップし、前回上位 20 社圏外からの上位進出となった。この他、7 位「キーエンス」(同 15 位)、10 位「三菱電機」(同 19 位)、15 位「セコム」(同 26 位)は、それぞれ前回から大きくランクを上げている。

前回1位の「ファナック」は、2年連続で NetCash が減少し(第3回 8,712 億円→第4回 6,866 億円→第5回 6,297 億円)、3位に後退している。前回2位の「キヤノン」においては、有利子負債の増加を主因に NetCash が大幅に減少(前年度比▲6,150 億円)し、トップ 100 圏外(332 位)までランクダウンしている。

なお、トップ 100 については図表 B にまとめた。

※NetCash=現預金-(短期借入金+長期借入金+社債+一年以内返済の長期借入金+一年以内償還の社債+割引手形)

### [2] 「金持ち企業ランキング」/営業キャッシュフローとの比較

金持ち企業ランキング上位企業に対して、営業キャッシュフロー(※)による資金創出力を比較したところ、両方にランクインしているのは、「スズキ」、「三菱電機」、「SUBARU」、「信越化学工業」の4社となった。前述のように、「スズキ」は多額の営業キャッシュフローを創出したことにより NetCash が大幅に増加し、ランクインしたことが分かる。

一方で、営業キャッシュフローの上位企業である「トヨタ自動車」や「日本電信電話(NTT)」においては、事業活動により多額の Cash を獲得するものの、獲得した Cash を株主還元や投資活動等に投下していることで、ランキング上位に現れていないことが考えられる。(図表 C、図表 D)

### **[3] 「金持ち企業ランキング」／金融機関との比較**

カネを商品とする金融機関において、NetCash を調査したところ、銀行はすべてマイナスの状態であった。これは銀行が現金そのものを商材としていることから、通常は調達資金に対して運用資金が超過するためである。

地方銀行の再編によって、「コンコルディア・フィナンシャルグループ」(横浜銀行と東日本銀行の経営統合)、「めぶきフィナンシャルグループ」(常陽銀行と足利ホールディングスの経営統合)が、地方銀行における資金保有量で新たに上位にランクインしている。(図表 E)

また、ランキング上位の「信越化学工業」、「任天堂」においては、保険会社の保有現金と同等の NetCash を有していることが分かり、その資金力の豊富さが確認できる。

### **[4] 「金持ち企業ランキング」／前回 NetCash との比較**

上位 20 社にランクインしている企業について、前回ランキングとの NetCash を比較したところ、17 社が増加する結果となった。前回より NetCash が減少した企業はわずかに3社と、ほとんどの企業において、Cash を蓄積する戦略を取っている傾向がみられる。(図表 F)

## **3. 総評**

金持ち企業ランキングは、今回で5度目の実施となるが、第1回のランキングから4年連続で1位に君臨していた「ファナック」が、ついに1位の座を明け渡す結果となった。

今回1位となった「信越化学工業」は、第1回の本ランキング実施以降、4年連続で NetCash を 1,000 億円以上増加させており、好調な業績を背景に cash の蓄積を進めている。また、今回順位を上げた「SUBARU」、「スズキ」においても、近年の堅調な業績によって、営業キャッシュフローを創出し、NetCash を増加させていることがうかがえる。

企業経営において、最も重要な資源の一つである「カネ」を保有しておくことは、安定した経営を実現する上で必要であり、今回の上位 20 社にランクインした企業のうち、17 社において前回よりも NetCash が増加している点は、まさにそれらの企業が経営の安定性を高めるための戦略として NetCash の蓄積を進めているということになる。

一方、不動の1位であった「ファナック」は、2015 年3月期から株主に対して大幅な利益還元を行う方針に転換したことで NetCash の減少が進み、3位に後退した。また、4年連続2位であった「キヤノン」は、2016 年 12 月に東芝メディカルシステムズを 6,655 億円を買収したことに伴って有利子負債が増加し、順位を大きく下げる結果となった。ROE(自己資本利益率)を高める経営戦略が求められる昨今、潤沢に保有する Cash を、株主還元に向けた「ファナック」、事業拡大のための投資に用いた「キヤノン」の戦略はそれぞれ異なるものであるものの、いずれも Cash を手元に寝かせておく戦略から循環・運用する戦略に転換しようとする姿勢がうかがえる。

企業経営において、Cash は不足したり循環が止まってしまうと死に至る点から、しばしば「血液」に例えられる。強靱な体質を築き上げるためには、血液を増やすだけでなく、活発に循環させることも重要である。その観点では、本アンケートの上位ランクイン企業は、十分な血液を有している企業だといえるが、真に強靱な体質だとは言い切れない。今後は、その豊富な血液を活発に循環させ、更なる体質強化によって、経済をけん引していく企業が増えていくことに期待したい。

図表A 第5回「金持ち企業ランキング」/ランキングベスト20

順位	企業名	都道府県	業種	net cash
1	信越化学工業	京都府	化学工業	7,383億円
2	任天堂	京都府	娯楽用具・玩具製造業	6,627億円
3	ファナック	山梨県	生産用機械器具製造業	6,297億円
4	三菱自動車工業	東京都	自動車製造業	5,412億円
5	SUBARU	東京都	自動車製造業	5,105億円
6	SMC	東京都	はん用機械器具製造業	4,428億円
7	キーエンス	大阪府	電子部品・デバイス・電子回路製造業	4,169億円
8	京セラ	京都府	電子部品・デバイス・電子回路製造業	3,513億円
9	富士フイルムホールディングス	東京都	化学工業	3,211億円
10	三菱電機	東京都	電気機械器具製造業	3,103億円
11	大成建設	東京都	総合工事業	3,009億円
12	日本航空	東京都	航空運輸業	2,878億円
13	ローム	京都府	電子部品・デバイス・電子回路製造業	2,649億円
14	スズキ	静岡県	自動車製造業	2,544億円
15	セコム	東京都	セキュリティーサービス事業	2,348億円
16	バンダイナムコホールディングス	東京都	娯楽用具・玩具製造業	2,055億円
17	オリエンタルランド	千葉県	娯楽業	2,032億円
18	ルネサスエレクトロニクス	東京都	電子部品・デバイス・電子回路製造業	2,020億円
19	大正製薬ホールディングス	東京都	医薬品製造業	2,012億円
20	大東建託	東京都	総合工事業	1,937億円

図表 B 第5回「金持ち企業ランキング」/ランキングベスト 100

順位	企業名	Net Cash	順位	企業名	Net Cash
1	信越化学工業	7,383億円	51	トレンドマイクロ	845億円
2	任天堂	6,627億円	52	スタンレー電気	823億円
3	ファナック	6,297億円	53	しまむら	809億円
4	三菱自動車工業	5,412億円	54	名村造船所	804億円
5	SUBARU	5,105億円	55	グリー	801億円
6	SMC	4,428億円	56	久光製薬	781億円
7	キーエンス	4,169億円	57	東洋水産	779億円
8	京セラ	3,513億円	58	塩野義製薬	777億円
9	富士フイルムホールディングス	3,211億円	59	高松コンストラクショングループ	773億円
10	三菱電機	3,103億円	60	キヤノンマーケティングジャパン	767億円
11	大成建設	3,009億円	61	積水化学工業	765億円
12	日本航空	2,878億円	62	ベネッセホールディングス	757億円
13	ローム	2,649億円	63	丸一鋼管	757億円
14	スズキ	2,544億円	64	ポーラ・オルビスホールディングス	753億円
15	セコム	2,348億円	65	栗田工業	727億円
16	バンダイナムコホールディングス	2,055億円	66	ジョイフル本田	715億円
17	オリエンタルランド	2,032億円	67	コーセー	709億円
18	ルネサスエレクトロニクス	2,020億円	68	東京エレクトロン	708億円
19	大正製薬ホールディングス	2,012億円	69	日清製粉グループ本社	707億円
20	大東建託	1,937億円	70	ユー・エス・エス	706億円
21	シマノ	1,907億円	71	レオパレス21	699億円
22	ニコン	1,889億円	72	ニトリホールディングス	699億円
23	ヒロセ電機	1,852億円	73	NTTドコモ	693億円
24	マキタ	1,764億円	74	ディスコ	687億円
25	セブン&アイ・ホールディングス	1,736億円	75	トヨタ紡織	683億円
26	小糸製作所	1,718億円	76	長谷工コーポレーション	680億円
27	ホシザキ	1,630億円	77	エスケー化研	677億円
28	アルフレッサホールディングス	1,625億円	78	スギホールディングス	664億円
29	日揮	1,589億円	79	浜松ホトニクス	652億円
30	ユニ・チャーム	1,569億円	80	江崎グリコ	636億円
31	ブリヂストン	1,476億円	81	ミスミグループ本社	631億円
32	メディopalホールディングス	1,386億円	82	大京	608億円
33	博報堂DYホールディングス	1,363億円	83	セイノーホールディングス	608億円
34	ミクシィ	1,342億円	84	加藤産業	601億円
35	オムロン	1,260億円	85	ヤマトホールディングス	592億円
36	千代田化工建設	1,251億円	86	トッパン・フォームズ	587億円
37	村田製作所	1,242億円	87	NIPPO	586億円
38	マブチモーター	1,223億円	88	熊谷組	585億円
39	スクウェア・エニックス・ホールディングス	1,209億円	89	アマダホールディングス	584億円
40	エービーシー・マート	1,156億円	90	小林製薬	579億円
41	リンナイ	1,152億円	91	安藤・間	575億円
42	大和工業	1,106億円	92	双葉電子工業	568億円
43	大塚商会	1,102億円	93	三谷商事	567億円
44	スズケン	1,081億円	94	アルプス電気	556億円
45	日本ペイントホールディングス	1,028億円	95	東海理化電機製作所	553億円
46	オービック	981億円	96	THK	546億円
47	三共	978億円	97	アルパイン	533億円
48	ヤマハ	946億円	98	TOTO	530億円
49	東洋エン지니어リング	942億円	99	コロプラ	525億円
50	東芝プラントシステム	882億円	100	エイチ・アイ・エス	524億円

図表 C 第5回「金持ち企業ランキング」/ランキング上位

今回 順位	前回 順位	変動	企業名	決算期	net cash	営業 キャッシュフロー
1	3	↑ (2)	信越化学工業	2017/03期	7,383億円	2,908億円
2	4	↑ (2)	任天堂	2017/03期	6,627億円	191億円
3	1	↓ (-2)	ファナック	2017/03期	6,297億円	1,217億円
4	5	↑ (1)	三菱自動車工業	2017/03期	5,412億円	-458億円
5	9	↑ (4)	SUBARU	2017/03期	5,105億円	3,454億円
6	6	→ (0)	SMC	2017/03期	4,428億円	1,209億円
7	15	↑ (8)	キーエンス	2017/03期	4,169億円	1,216億円
8	8	→ (0)	京セラ	2017/03期	3,513億円	1,642億円
9	13	↑ (4)	富士フイルムホールディングス	2017/03期	3,211億円	2,886億円
10	19	↑ (9)	三菱電機	2017/03期	3,103億円	3,659億円
11	35	↑ (24)	大成建設	2017/03期	3,009億円	2,181億円
12	7	↓ (-5)	日本航空	2017/03期	2,878億円	2,531億円
13	11	↓ (-2)	ローム	2017/03期	2,649億円	673億円
14	2582	↑ (2568)	スズキ	2017/03期	2,544億円	3,663億円
15	26	↑ (11)	セコム	2017/03期	2,348億円	1,711億円
16	17	↑ (1)	パンダイナムコホールディングス	2017/03期	2,055億円	641億円
17	23	↑ (6)	オリエンタルランド	2017/03期	2,032億円	1,176億円
18	22	↑ (4)	ルネサスエレクトロニクス	2016/12期	2,020億円	958億円
19	18	↓ (-1)	大正製薬ホールディングス	2017/03期	2,012億円	400億円
20	21	↑ (1)	大東建託	2017/03期	1,937億円	1,240億円

※営業キャッシュフローは、決算短信サマリ記載の金額を使用。

図表 D 第5回「金持ち企業ランキング」/ 営業キャッシュフローランキング

順位	企業名	業種	営業キャッシュフロー
1	トヨタ自動車	輸送用機械器具製造業	3兆4,142億円
2	日本電信電話	専門サービス業	2兆9,173億円
3	日産自動車	輸送用機械器具製造業	1兆3,354億円
4	NTTドコモ	通信業	1兆3,124億円
5	ソニー	情報通信機械器具製造業	8,092億円
6	東京電力ホールディングス	専門サービス業	7,830億円
7	東日本旅客鉄道	鉄道業	6,529億円
8	オリックス	物品賃貸業	5,839億円
9	東海旅客鉄道	鉄道業	5,805億円
10	セブン&アイ・ホールディングス	専門サービス業	5,125億円
11	キヤノン	業務用機械器具製造業	5,002億円
12	関西電力	電気業	4,856億円
13	新日鐵住金	鉄鋼業	4,842億円
14	ブリヂストン	ゴム製品製造業	4,445億円
15	スズキ	自動車製造業	3,663億円
16	三菱電機	電気機械器具製造業	3,659億円
17	SUBARU	輸送用機械器具製造業	3,454億円
18	中部電力	電気業	3,350億円
19	イオン	総合小売業	2,948億円
20	信越化学工業	化学工業	2,908億円

※営業キャッシュフローは、決算短信サマリ記載の金額を使用。

図表 E 第5回「金持ち企業ランキング」/ 金融機関

企業名	Net Cash	現預金
<b>メガバンク</b>		
三菱UFJフィナンシャル・グループ	▲138兆3,498億円	63兆5,259億円
みずほフィナンシャルグループ	▲88兆8,322億円	47兆1,295億円
三井住友フィナンシャルグループ	▲94兆2,801億円	46兆8,655億円
りそなホールディングス	▲29兆8,983億円	12兆6,419億円
<b>地方銀行</b>		
コンコルディア・フィナンシャルグループ	▲13兆6,773億円	3兆2,071億円
ふくおかフィナンシャルグループ	▲12兆2,545億円	2兆8,805億円
千葉銀行	▲10兆3,907億円	1兆8,065億円
ほくほくフィナンシャルグループ	▲9兆1,936億円	1兆7,537億円
めぶきフィナンシャルグループ	▲13兆1,571億円	1兆3,937億円
<b>保険会社</b>		
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	9,630億円	1兆4,192億円
かんぽ生命保険	1兆3,660億円	1兆3,660億円
第一生命ホールディングス	▲1,077億円	8,819億円
T&Dホールディングス	8,123億円	8,624億円
SOMPOホールディングス	3,892億円	8,142億円
<b>その他</b>		
日本郵政(株)	53兆2,277億円	53兆3,134億円
三井住友トラスト・ホールディングス(株)	▲13兆9,586億円	26兆9,444億円
(株)大和証券グループ本社	1兆4,121億円	3兆8,286億円
野村ホールディングス(株)	2兆4,290億円	2兆9,720億円
日本証券金融(株)	2,518億円	1兆767億円
(株)セブン銀行	-69億円	6,945億円

図表 F 第5回「金持ち企業ランキング」/ ランキング上位 前回 Net Cash 比較

順位	企業名	今回net cash	前回net cash	差額
1	信越化学工業	7,383億円	5,838 億円	1,545 億円
2	任天堂	6,627億円	5,704 億円	923 億円
3	ファナック	6,297億円	6,866 億円	▲569 億円
4	三菱自動車工業	5,412億円	4,262 億円	1,150 億円
5	SUBARU	5,105億円	3,375 億円	1,730 億円
6	SMC	4,428億円	3,634 億円	794 億円
7	キーエンス	4,169億円	1,983 億円	2,186 億円
8	京セラ	3,513億円	3,412 億円	101 億円
9	富士フイルムホールディングス	3,211億円	2,352 億円	859 億円
10	三菱電機	3,103億円	1,701 億円	1,402 億円
11	大成建設	3,009億円	1,246 億円	1,763 億円
12	日本航空	2,878億円	3,523 億円	▲645 億円
13	ローム	2,649億円	2,809 億円	▲160 億円
14	スズキ	2,544億円	▲320 億円	2,864 億円
15	セコム	2,348億円	1,423 億円	925 億円
16	パンダイナムコホールディングス	2,055億円	1,747 億円	308 億円
17	オリエンタルランド	2,032億円	1,520 億円	512 億円
18	ルネサスエレクトロニクス	2,020億円	1,598 億円	422 億円
19	大正製薬ホールディングス	2,012億円	1,721 億円	291 億円
20	大東建託	1,937億円	1,619 億円	318 億円